

第45回階上町社会福祉大会開催

～たくさんのご来場ありがとうございました～

11月24日、ハートフルプラザにおいて4年ぶりに一般参加者を招き第45回町社会福祉大会が開催されました。大会は、八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 学科長・教授の吉田守実様より「この町で“ずっと暮らせる、暮らしたい”をかなえる魔法のタネ」と題して講演をいただいた後、赤保内小学校5年生よりボランティア推進校活動発表をしていただきました。大会式典では、長年にわたり社会福祉発展にご貢献された方や社会福祉関係者、高額寄付者、高額物品寄付者、社会福祉作文入選者に対する表彰や、社会福祉作文で最優秀に選ばれた泉山唯翔さん（赤保内小6年）と久保沢凜佳さん（階上中2年）の作文発表などが行われました。

今後も、「ともに生き支えあう福祉のまちづくり」の実現を目指し、一層の地域福祉推進に取り組んでまいりたいと思います。これからもご支援ご協力を宜しくお願い致します。

なお、表彰を受けられた方々は以下のとおりです。（敬称略・順不同）

名誉大会長伝達

・青森県社会福祉大会長表彰

田中由紀子（ほのほの交流協力員） 柳沢 正子（ほのほの交流協力員）
濱道登美子（ほのほの交流協力員） 中屋敷さち子（ほのほの交流協力員）
町 千賀子（階上保育園職員） 阿部 奨（町社協職員）
上平千恵子（町社協職員）

名誉大会長授与

＜表彰の部＞

・福祉団体役職員等永年勤続者

上 博文（町社協監事） 梨子 謙一（町社協理事）
大前 典男（町老人クラブ連合会役員） 小松 サチ（町老人クラブ連合会役員）
畑中 順子（町身体障害者福祉会役員） 三上 洋子（町身体障害者福祉会役員）
下野 スミ（町手をつなぐ育成会役員） 平島 ハナ（町母子寡婦福祉会役員）
泉山由美子（階上保育園職員）

大会長授与

＜感謝の部＞

・高額寄付者（5万円以上）

鹿原 匠 河内 のぶ 野沢 敏雄 新井田トミ
青森銀行階上支店年金友の会

・高額物品寄付者

佐京 忠史 有限会社太田技建

＜表彰の部＞ 令和5年度階上町社会福祉作文入選者

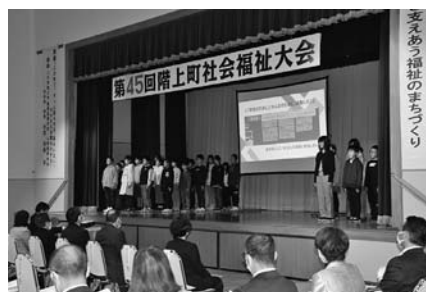
最優秀 泉山 唯翔（赤保内小6年） 久保沢凜佳（階上中2年）
優 秀 濱谷 梨玖（道仏小6年） 長根 明凜（道仏中2年）
佳 作 小節 愛瑤（石鉢小6年） 笹山 柚奈（石鉢小6年）
庭瀬 愛琉（石鉢小6年） 工藤 勇太（階上小6年）
豊川 優斗（階上小6年） 川畑 煌真（赤保内小6年）
荒津内奏大（赤保内小6年） 星 有桜（赤保内小6年）
堀内 淳史（赤保内小6年） 角地 恵瑠（道仏小6年）
坂下 凜（階上中1年） 福士 千手（階上中3年）
上山 昂也（道仏中3年）



表彰を受ける小松サチさん



講師の吉田守実様



赤保内小学校によるボランティア推進校活動発表

あたたかいご寄付 ありがとうございました

- 赤保内小学校 様
アルミブルタブ 17.7kg
- 耳ヶ吠東 中城 彰 様
アルミブルタブ 14.7kg
- 青森県市町村職員年金者連盟
三八支部長 鈴木 孝義 様
金 5,000円



弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

■日 時 12月26日（火）

午後1時から午後3時
（1人20分以内）

■場 所 ハートフルプラザ・はしかみ

・相談は予約制（先着6名）です。

予約受付 階上町社会福祉協議会 ☎88-3067



ホームヘルパー登録職員募集！

未経験の方、フランクのある方大歓迎！

空いている時間や資格を活かせます！

和気あいあいとして明るい職場です！

募集職種/人数	介護業務（登録ヘルパー）職員／若干名
業 務 内 容	ご利用者（高齢者、障がいのある方）の自宅に訪問して、家事や介護のサービスを提供します。 ・生活援助 ・身体介護 ・通院などの移動 ・外出支援 ※ご利用者宅への訪問は事業所の車両を使用します。
資 格	・介護福祉士または介護職員初任者研修（ヘルパー2級）以上修了 ・普通自動車第1種免許（AT限定可）
勤 務 時 間	1週間に30時間未満（週6日以内） ※勤務日、勤務時間はご相談に応じます。
賃 金	時給898円以上（資格や経験年数等により個別に決定） ※賃金は移動時間や記録整理等を含めた勤務時間に対し支給します。 ※通勤手当、早朝・夜間業務手当、介護福祉士資格手当等支給 ※処遇改善加算による手当等支給実績あり
応 募 書 類	①登録職員申込書（社協事務局にあります） ②履歴書（写真貼付） ③資格証明書（写） ※試験（面接）については、応募者へ後日お知らせします。
申込み・問合せ先	階上町社会福祉協議会 ☎88-3067



年末年越し給食サービスをご利用ませんか？

社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。
利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 令和5年12月31日（日）
- 配達時間 午後1時～3時頃
- 利 用 料 無料
- 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・令和5年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をお一人でお過ごしになる方
※大晦日をご家族、ご親戚等と一緒に過ごされる方は対象となりません。
- 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を12月18日（月）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067



おせち料理を
お届け
いたします



※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。

編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shakyo.or.jp/hp/220/

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり22.47円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）



QRコード

入選作品が決まりました！ 第44回町社会福祉作文

今年も町内小中学校より社会福祉作文の応募をいただきありがとうございました。応募のあった94編の作品の中から17編の入選作品が下記のとおり決まりました。

その中から、最優秀に選ばれた赤保内小学校6年 泉山唯翔さんと、階上中学校2年 久保沢凜佳さんの2作品を紹介します。

なお、入選作品は文集「そよ風」第44集でご覧いただけます。入選者のみなさんおめでとうございます。 ※文集「そよ風」はハートフルプラザ・はしかみで閲覧ができます。

賞	学 校 名	学 年	氏 名	題
最優秀	赤保内小学校	6	泉 山 唯 翔	「ぼくの個性」
〃	階 上 中 学 校	2	久保沢 凜 佳	一束の髪が未来を明るく
優 秀	道 仏 小 学 校	6	濱 谷 梨 玖	社会福祉について
〃	道 仏 中 学 校	2	長 根 明 凜	家族とともに
佳 作	石 鉢 小 学 校	6	小 節 愛 瑤	私ができること
〃	石 鉢 小 学 校	6	笹 山 柚 奈	お年寄りを助けたい
〃	石 鉢 小 学 校	6	庭 瀬 愛 琉	あいさつ運動などのボランティア活動
〃	階 上 小 学 校	6	工 藤 勇 太	ごみ拾いを通じて
〃	階 上 小 学 校	6	豊 川 優 斗	交流を通して学んだこと
〃	赤保内小学校	6	川 畑 煌 真	ホームレスのためには？
〃	赤保内小学校	6	荒津内 奏 大	明るい未来のために
〃	赤保内小学校	6	星 有 桜	「障害者に優しい未来へ」
〃	赤保内小学校	6	堀 内 淳 史	ぼくの兄
〃	道 仏 小 学 校	6	角 地 恵 瑠	だれにでも気づかう
〃	階 上 中 学 校	1	坂 下 凜	希望のある未来
〃	階 上 中 学 校	3	福 士 千 手	差別のない明るい社会を
〃	道 仏 中 学 校	3	上 山 昂 也	笑顔が福祉



【最優秀】
「ぼくの個性」
赤保内小6年 泉山 唯翔

福祉とは何か。ぼくは、その言葉を調べました。福祉とは全ての人々の命を大切にしてくらしを豊かにして、いきがいを見つけることを支えること。世の中には、目が見えない人や、耳が聞こえない人、体が不自由な人など、自分たちが思っている人よりも、多くの人が困っているのかもしれない。生活に、不便を感じている人たちに、ぼくは何かできるのか考えました。ぼくには、きつ音があります。きつ音とは、うまく言葉が口から出せなくなったり、どもったりすることです。ぼくは、そんなにひどくはないけど、言おうとした言葉が出てくることがあります。歌う時はきつ音は出ないけど、人前で話したり初めて会う人と

話す時は、多く出ます。友達と話している時も、言葉がうまく出ないで話の流れに、追いつけなかったりもします。話をあきらめてしまつこともあります。もしかしたら、体が不自由な人も、生活の中で何かをあきらめてしまつことがあるのかもしれない。ぼくの場合、言い方を真似されたり笑われたりすることがあります。くやしい気持ちにはなるけど、「言い方より、話す内容の方が大切だよ。」と、母は言います。きつ音はあるけど、それは、ぼくの「個性」だと思って前向きに考えられるようになりました。ぼくには、夢があります。それは、小さい子供が好きなので小学校の先生になりたいです。きつ音だから心配だっただけど、アナウンサーや俳優になつている人もいるそうです。体が不自由でもスポーツだってできるし、耳が不自由でも音楽に関わっている人もいます。色々な人がいる中で、それぞれに個性があり、それぞれに夢があります。だからぼくは、人に対して思いやりをもち、自分の夢に向かって進んでいきます。

【最優秀】

「一束の髪が未来を明るく」
階上中2年 久保沢 凜佳



「ヘアドネーション」というボランティア活動を耳にしたことはありませんか。ヘアドネーションとは、「ヘア（髪の毛）」と「ドネーション（寄付）」を合わせた言葉で、病気や事故で脱毛に悩む子供に、寄付された髪の毛で医療用ウィッグを作り、無償で提供する活動のことです。私がヘアドネーションに興味を持ったのは、とある新聞の記事がきっかけでした。それには小学生の男の子がウィッグを必要としている子のために髪を伸ばし続け、ヘアドネーションをした事が書いてありました。「男の子なのに髪が長い」と周りにからかわれることも多くあり、苦労したそうです。このようにヘアドネーションをす

る人が増えてきた今でも、まだ百五十人以上の子供がウィッグを必要としているそうです。子供たちは、他の人から、からかわれたり人目を引いたりしないで髪のある他の子供たちと同じように過ごし、楽しい瞬間を共有したいと考えているそうです。そのためにはまず、ウィッグをつくるための髪が必要です。そこで私もヘアドネーションをするために小学六年生から約二年半の間、髪を伸ばしてきました。最初は髪が短かったのですが、ウィッグの製作に必要な三十一センチ以上にするにはかなり時間がかかりました。

髪を伸ばすことはそう簡単ではありませんでした。大変だったことはたくさんありますが、その中でも特に手入れが難しかったです。髪はなるべく傷まないようにしなくてはならないので、丁寧に髪を洗い、乾かしていました。しかも、乾かすのにかなり時間がかかり、特に夏は暑くて大変でした。また、学校の授業中にはイスのねじに髪が挟

まってしまつ事も多くありました。改めて、髪が長い事は大変だと思いました。中学一年生になった今、ついに髪を切ることにしました。髪は「JHD&C」という、日本のヘアドネーション活動に協力している「賛同サロン」とよばれる美容院で切りました。行きつけのサロンを利用する場合、ドネーションカットの手順が細かく書かれた「ヘアドネーションの方法(PDF)」を美容師さんに読んでもらい、了承を得られたら予約できるそうです。美容院ではまず髪の毛の長さを計りました。三十一センチはショートウィッグ、四十センチはボブウィッグ、五十センチはロングウィッグ、六十センチはスーパールロングウィッグになるそうです。私は肩までで四十センチあったのでボブウィッグになる予定でした。

次に髪を五束に分けて髪ゴムで結い、髪をザクザクと切ってもらいました。この切った髪がウィッグになり、百五十人の中の一人へ届くと考えると何だか嬉しくなりました。切った髪は袋に入れられ、自分でヘアドネーションの事務所に送ります。なぜなら、少し前、美容師さんが詐欺で髪を販売している所に間違つて送ってしまった事があり、今はドナー自らで送る事になっているからです。ボランティアとして髪を提供しているのに、詐欺で商売として使われる事はとても悲しいです。送られた髪の毛の中で三十一センチ以上のものはウィッグとして使われます。一つの毛束には三十一センチに満たない髪の毛もあります。それらは、シャンプーやカラー剤のテストなどに使われる「評価毛」や、美容師さんが練習するカットマネキンなどに販売し、提供費として役立てているそうです。なお、カットした切り口から一番長い毛先までが三十一センチ以上なら問題はありません。

